

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870102948
法人名	医療法人 椿クリニック
事業所名	グループホーム つばきの里
所在地	松山市古川北1丁目25-24
自己評価作成日	平成24年 8月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 24年 9月 25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

<p>医療と介護の連携ができており、毎日利用者の身体状況を細かく観察・報告を行い、元気で安心して生活が送れるよう支援しています。行事においては地域の方にも参加して頂けるようチラシを配布して参加を促し、今年は地域の方も遊びに来てくれました。また、近所のお店にも利用者と一緒に行き顔を覚えてもらうなど、地域とのふれあいも楽しんでいます。 年2回の地域フォーラムを開催して、ご家族や地域の方に認知症等の理解を深めてもらい地域の拠点になるよう努力しています。</p>
-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

<p>事業所は住宅街にあり、近くには飲食店やスーパーがある。開設から9年目を迎え、地域との日常的な交流も盛んである。毎年、体育館を借りて法人全体で行う運動会は、地域住民や家族、ボランティアも参加する一大イベントとなっている。年2回開催する地域フォーラムにはテーマに合わせた講師を招き、参加者は医療や介護に関する情報を得たり相談することができ、地域の中で重要な役割を担っている。近くの保育園児との交流も始まり、さらに地域とのよりよい関係づくりに取り組んでいる。母体は医療法人であり、日頃からの徹底した健康管理と医療と介護の連携が構築できており、安心してその人らしく暮らしていけるよう支援している。</p>
---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム つばきの里

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)

氏名 泉本 厚子

評価完了日 平成24年 8月31日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 地域密着型のサービスとして、事業所全体でそれに基づいた理念を掲げ、ミーティングや朝礼を通じて職員間で共有している。	
			(外部評価) 理念にある医療と介護の連携を基本として、利用者が慣れ親しんだ地域の中でその人らしく暮らしていけるよう支援している。職員全員が地域密着型サービスの意義を理解しており、ミーティングや報告会の度に理念について確認し意識の統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の方へ行事のチラシを配布して参加を促している。また、地域の祭りに参加したり、地域・家族を対象とした研修会も行なっている。	
			(外部評価) お花見やそうめん流しなど事業所の行事は、地域住民や家族、ボランティア団体も参加しにぎやかに行われている。地域の美容室や飲食店とも積極的に関わりを持ち交流している。年2回行われる地域フォーラムは認知症や福祉用具など様々なテーマで開催されており多数の地域住民の参加がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 行事の時や民生委員、ボランティアの方を通じて地域の方へ認知症者への関わりの時間を持つようにしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 2カ月に1回運営推進委員会を行い、市や他の事業所等様々な立場の方に参加して頂き、意見や助言をもらい日々のケア向上に役立てている。	
			(外部評価) 運営推進会議には、市の担当者や法人内の他事業所職員をはじめ民生委員や地域住民、ボランティア団体など参加者も多い。事業所の報告だけでなく保育園児との交流会や避難訓練など行事と一緒に開催し、事業所を良く知ってもらうよう工夫されている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進委員会にも参加して頂き、サービス提供にあたってのアドバイスを頂いたり、意見交換を行なっている。	
			(外部評価) 市の担当者とは、運営推進会議だけでなく普段から連絡や相談をして協力関係を築いている。事業所の行事にも参加してもらい職員や利用者との交流も行い関係を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 院内勉強会で身体拘束についての勉強会を開催して正しく理解することで拘束しないケアを実施している。	
			(外部評価) 身体拘束をしないケアについて職員は勉強会などで理解しており、言葉による行動の制限や抑制などもしないよう管理者が指導し職員同士も気をつけている。施錠は防犯のため夜間のみ行い、帰宅願望がある利用者には見守りと声かけで対応している。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 院内勉強会で正しく知識を学び、職員間同士でも話し合いをして、虐待防止に心掛けている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 院内勉強会や研修会に参加したり、地域包括支援センター職員より情報提供してもらうことにより、正しい知識を得ると共に利用者、ご家族へ説明できるよう日々学習している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約書を通じてご家族等に説明を行い、ご理解・納得を頂いている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 常日頃からご家族とのコミュニケーションを行うことで意見・苦情等を聞きやすい環境に努めている。また、ご家族との連絡ノートを活用することで意見や苦情等を聞き出すようにしている。	
			(外部評価) 利用者ごとの連絡ノートを活用して、意見や要望を把握している。事業所の近隣に住む家族が多く、よく面会に訪れるため職員とも馴染みの関係ができており要望も言いやすい。職員は家族との何気ない会話から意向を汲み取っている。遠方の家族には毎月ファックスで利用者の様子などを報告している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 院内ミーティングやスタッフ会議を行い、意見交換を行なっている。	
			(外部評価) 月1回のミーティングなど職員が意見や要望を伝える機会が定期的にある。管理者は現場で職員とともにケアにあたり、コミュニケーションもよく取っていて、職員は普段から意見や要望を伝えやすい環境にある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員努力・勤務状況を把握して即対応している。また、資格習得への支援も行なっている。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修会への参加を促したり、院内ミーティングの勉強会で知識や技術を身につけることにより質の向上に努めている。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 研修会や運営推進委員会に参加し合い意見交換を行なっている。また、地区グループホーム連絡会に参加してネットワーク作りに努めている。	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 事前訪問を行い、本人の状態や意見を確認している。また、見学も行なっている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前訪問などで得た情報やご本人・ご家族の要望等をもとに、暫定ケアプランを作成、説明を行い理解を頂いている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 暫定ケアプランを納得して頂いた上でサービス開始にできるようにしている。また面談にはケアマネージャーも同席してもらっている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 日常生活の中で信頼関係を築けるように務めている。また、利用者が何を求めているかを日頃から観察を行い手助けできるように努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 利用者の状況を定期的にご家族へ口頭や電話・FAX連絡により報告している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) いつでも面会できるような環境を作り、に努めている。また、電話や手紙などの活用により関係維持への支援も務めている。	
			(外部評価) 利用者本人や家族からこれまでの生活歴や習慣などの情報を把握し、馴染みの関係が途切れないように支援している。定期的に墓参りに出掛けたい等、利用者一人ひとりの希望に沿うよう努めている。法人内の他事業所との交流も盛んで、知人と再会したり新しい馴染みの関係を築ける機会を多く作っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者関係が築けるような空間作りに務めている。職員も利用者間に入ることによってトラブル回避に心掛けている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス利用終了後も本人・ご家族が安心できるように他のサービス機関の紹介、相談に応じている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人の意向に沿った対応ができるように努め、自己決定できるよう支援している。	
			(外部評価) センター方式を取り入れ、利用者の生活歴や習慣、思いを再確認している。知り得た情報は記録に残して、職員全員で共有している。思いを伝えにくい利用者もいるが、表情や行動、普段の会話など日常の関わりの中から思いを汲み取っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人・ご家族から生活歴を聞き出し、ケアに活かすようにしている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 24時間シートの活用や職員間での申し送りを主として把握に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 本人や家族のニーズ等を把握して、ケアカンファレンスを行い、ケアプランを作成。定期的なモニタリングや必要に応じてケアカンファレンスを行いケアプランに反映できるようにしている。</p> <p>(外部評価) 利用者と家族の意向や要望を聞いて話し合い、それらが反映された利用者主体の介護計画を作成している。課題が確実にケアに連動していくよう記録方法も工夫し、モニタリングも月1回行い、現状に合った介護計画になるように努めている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 利用者の心身状況や日々の様子を24時間シートに活用することで職員感の情報の共有、介護計画やサービスに反映している。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 法人内の小規模多機能やデイケア、サービス付き介護住宅と連携しニーズに合わせたサービスを提供している。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 様々なボランティアの方を通じて地域との交流を図ったり、民生委員の方々に防災訓練に参加して頂き協力体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) 本人やご家族の意向を尊重して母体の椿クリニックや 協力病院を受診している。緊急時には職員も同行して 必要な医療が受けられるように配慮している。	
			(外部評価) 週1回看護師の訪問があり健康管理が徹底されてい る。体調不良時などは母体の医療機関と連携を取り、 早急な対応ができています。職員が受診に付き添った場 合は、診察内容や利用者の状態などを詳細に家族に伝 えている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 椿クリニックの看護師と24時間協力体制が取れてい る。また、週1回ベテル病院の訪問看護師による定期訪 問も行なっている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療でき るように、また、できるだけ早期に退院で きるように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時は随時面会へ行き、医療機関から本人の状況確 認や情報交換を行なっている。医療機関からの情報に ついては椿クリニックへも報告している。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入所時にターミナルケアの指針・マニュアルを説明を 行いご家族の意向確認を行なっている。職員間でも院 内ミーティング等でターミナルケアの勉強会を実施し て知識の向上に努めている。	
			(外部評価) 終末期について事業所でできることを利用者と家族に 説明し、状態の変化に応じてその都度話し合ってい る。利用者と家族の意向を確認しながら納得し安心し た終末期を迎えられるように医師と連携し支援してい る。今までに1名の看取りを行っており、職員に対し て看取りについての勉強会や話し合いを行い知識を深 めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 医師や看護師により指導を受け、院内ミーティングにて知識や技術を身に付けている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的に自主訓練を実施したり、消防署指導の下に避難防火訓練も実施している。また防災マニュアル・避難経路図・緊急連絡網等も整備しており、緊急時は民生委員との協力体制も整っている。地域においては避難場所としてホームを提供することも表明しており、地域との相互協力体制も築いている。  (外部評価) 防災マニュアルを整備して避難訓練を行い、災害に対する意識が高い。地域の避難場所となることも想定し、非常用品や食料品の備蓄なども準備している。民生委員や地域住民の協力を得て緊急連絡網も整備し、地域との協力関係が構築できている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人の尊厳を傷つけないよう配慮した言葉かけを行っている。  (外部評価) 利用者一人ひとりの人格を尊重した声かけや対応を心がけており、特にトイレ誘導時や入浴時にプライバシーを損ねていないか職員同士で振り返り確認している。自分の希望を伝えにくい利用者には、自己決定しやすい声かけをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者が自己決定できるような空間や関係性に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 状況に応じてホーム側の都合に合わせて頂くこともあるが、個別のペースに合わせて支援している。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 定期的な美容室の利用、日々の服装選びなど利用者の意見を取り入れている。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者この能力に応じて片付け等を一緒に実施している。食事はその季節に応じた食材やメニューを取り入れ、季節を感じて頂いている。	
			(外部評価) 調理専門の職員が季節の食材を使い、栄養バランスにも配慮して作った食事は利用者からも好評である。おせち料理や誕生会など行事に合わせてメニューを工夫し、食事が楽しみになるようにしている。キッチンでの調理の様子や食事の匂いなども利用者に好まれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 個々の状態に応じた食事量や水分量を把握して提供している。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 個々の状態に合わせた口腔ケアを実施している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 個々の排泄パターンに合わせた声かけや誘導を実施し、トイレでの排泄に努めている。	
			(外部評価) 利用者の普段の排泄パターンを把握しながら、その日の状態や体調に応じてできるだけトイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 水分量の摂取や乳製品の取り入れを行い、排便を促す。必要に応じ、腹部マッサージ等も実施している。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 本人の体調や状態を確認して、2日に1回のペースで入浴を実施している。同性介助や利用者の意思も確認しながら、個々に合わせた入浴を心掛けている。	
			(外部評価) 利用者の入浴の希望や習慣を把握し、入浴の苦手な利用者には声かけや対応を工夫するなどして、気持ち良く入浴できるように努めている。利用者の状態に合わせて職員2名で介助を行うなど、安全で安心して入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 個々に応じた環境作りを実施して、安息・安眠にできるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医師の指導の下、薬の作用・副作用を理解して服薬支援及び解除を実施している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々に応じた役割分担を行い、利用者にやりがいある生活を過ごせるよう支援している。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者の状態・機構によって散歩や買い物等行なっている。	
			(外部評価) 近くの公園に行ったり周辺の散歩など日常的に外出できるよう支援している。事業所の近くにスーパーや飲食店が多く、利用者の希望に合わせて買い物等に出掛けたり、馴染みの美容室に行くなど、楽しみながら外出できるように努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 本人・ご家族に説明、同意を得て事務所にて預り、必要に応じて所持している。会計時は利用者が直接支払う。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話や手紙のやり取りが自由にできるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 季節に応じた飾りつけや壁絵を行なったり、行事の写真を掲示したりしている。居室は本人の思い出の品等置き、本人の居心地の良い空間作りを支援している。</p> <p>(外部評価) 陽当たりの良い明るいリビングは、食卓テーブルやソファがあり思い思いの場所でゆっくり過ごすことができる。壁には行事の写真や近くの保育園児から訪問の際にプレゼントされたものが飾られて、心和む空間になるよう工夫がされている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) ソファを設置し、利用者同士のなじみの関係作りができるよう支援している。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 自宅で使用していた物品や思い出の品を持ち込むことによりこれまでの生活が継続できるよう支援している。また本人にとって居心地の良い空間作りができるよう心掛けている。</p> <p>(外部評価) 居室にはベッドとクローゼットが備え付けてあり、利用者の使い慣れた家具や思い出のものが自由に待ちこまれて落ち着いて過ごすことができる。窓から明るい日差しがあり、窓辺で観葉植物を育てられ安らげる空間になっている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 文字を大きくしたり、わかりやすいよう表示したり工夫している。</p>	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870102948
法人名	医療法人 椿クリニック
事業所名	グループホーム つばきの里
所在地	松山市古川北1丁目25-24
自己評価作成日	平成24年 8月31日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載
----------	------------------------------------------

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 24年 9月 25日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

医療と介護の連携が整っており、入居者さん、家族ともに安心して毎日を明るく元気に過ごす事ができるよう支援します。開設してちょうど10年目になりますが、今年109歳になる方が元気に過ごされていることが自慢です。法人全体での年間行事の一である運動会は、家族も参加、各部署で競い合い、応援合戦や玉入れで思わぬ力を発揮、童心に戻れる時間を楽しんでいます。また、近くの保育園児との交流会、地域の子供の獅子舞に来てもらうなど子供達とのふれあいも大切にしています。最近では、近くに住む家族さんが飼い始めた子犬を連れての面会に思わぬドックセラピー効果を発見、新たな楽しみが加わりました。事業所としては、年2回の地域フォーラムが定着、地域の方々の協力も得られるようになり、より充実した内容にて地域に発信できるように成長しつつあります。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所は住宅街にあり、近くには飲食店やスーパーがある。開設から9年目を迎え、地域との日常的な交流も盛んである。毎年、体育館を借りて法人全体で行う運動会は、地域住民や家族、ボランティアも参加する一大イベントとなっている。年2回開催する地域フォーラムにはテーマに合わせた講師を招き、参加者は医療や介護に関する情報を得たり相談することができ、地域の中で重要な役割を担っている。近くの保育園児との交流も始まり、さらに地域とのよりよい関係づくりに取り組んでいる。母体は医療法人であり、日頃からの徹底した健康管理と医療と介護の連携が構築できており、安心してその人らしく暮らしていけるよう支援している。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム つばきの里

(ユニット名) 2 F

記入者(管理者)

氏名 泉本 厚子

評価完了日 平成24年 8月31日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 医療と介護の連携を基本としているため、常に職員全員で意識し合い、医療の知識を身につけ、実践につなげる努力をしている。	
			(外部評価) 理念にある医療と介護の連携を基本として、利用者が慣れ親しんだ地域の中でその人らしく暮らしていけるよう支援している。職員全員が地域密着型サービスの意義を理解しており、ミーティングや報告会の度に理念について確認し意識の統一を図っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 日常的な交流は少ないが、恒例行事には、近隣の方々の参加が、毎年増えてきている。また、認知症への理解と支援が得られるよう、年2回地域フォーラムを開催し、地域や家族との交流を深める努力をしている。	
			(外部評価) お花見やそうめん流しなど事業所の行事は、地域住民や家族、ボランティア団体も参加しにぎやかに行われている。地域の美容室や飲食店とも積極的に関わりを持ち交流している。年2回行われる地域フォーラムは認知症や福祉用具など様々なテーマで開催されており多数の地域住民の参加がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 定期的な地域フォーラムを開催し、認知症に対する対応や支援について、学べる場を提供している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 定期的な運営推進会議が開催できていることで、地域 の民生員さんや役員さんと率直な意見がもらえるよう になってきている。その際の意見を取り入れてサービ スの向上につなげる努力をしている。	参加者との活発な意見交換がなされる工夫をして、一 層有意義な会議となる取組みを期待したい。
			(外部評価) 運営推進会議には、市の担当者や法人内の他事業所職 員をはじめ民生委員や地域住民、ボランティア団体な ど参加者も多い。事業所の報告だけでなく保育園児と の交流会や避難訓練など行事と一緒に開催し、事業所 を良く知ってもらおうよう工夫されている。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議への参加や地域フォーラムの内容に応じ て資料や情報を提供してもらうなど、積極的に取り組 んでいる。	
			(外部評価) 市の担当者とは、運営推進会議だけでなく普段から連 絡や相談をして協力関係を築いている。事業所の行事 にも参加してもらい職員や利用者との交流も行い関係 を深めている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 定期的な勉強会で、職員全員が正しく学び、理解を深 める機会を作っている。ベット柵の使用については、 家族と十分に話し合い、同意をいただいた上で、ベッ トを使用する際には、転落、転倒予防のため使用して いる。	
			(外部評価) 身体拘束をしないケアについて職員は勉強会などで理 解しており、言葉による行動の制限や抑制などもしな いよう管理者が指導し職員同士も気をつけている。施 錠は防犯のため夜間のみ行い、帰宅願望がある利用者 には見守りと声かけで対応している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 定期的な勉強会にて、正しく学べる機会を作っている。常に意識し、身体だけでなく、言葉による虐待を含め、職員間で、お互いがはっきり注意し合い、防止に努めている。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	(自己評価) 研修会に参加し学べる機会を作っている。また、研修会に参加した職員が講師となり、職員全員が理解できるような勉強会を行っている。必要と思われる家族には、活用できるように支援している。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) その都度、必ず十分な説明し、理解と納得を得て、サインをいただいている。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 家族との連絡ノートを作り取り組んでいる。また、遠距離の家族においては、定期的なFAXや電話連絡することで、意見や要望を言いだしやすい関係を築き、早期対応、改善に努めている。	
			(外部評価) 利用者ごとの連絡ノートを活用して、意見や要望を把握している。事業所の近隣に住む家族が多く、よく面会に訪れるため職員とも馴染みの関係ができており要望も言いやすい。職員は家族との何気ない会話から意向を汲み取っている。遠方の家族には毎月ファックスで利用者の様子などを報告している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月のモニタリングやケアプランの見直しにおいてのスタッフ会議の際に話合える時間を作っている。また、リアルタイムで対応、改善に努めている。	
			(外部評価) 月1回のミーティングなど職員が意見や要望を伝える機会が定期的にある。管理者は現場で職員とともにケアにあたり、コミュニケーションもよく取っていて、職員は普段から意見や要望を伝えやすい環境にある。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 職員一人一人が自立し、はっきり意見が言えるように日々指導している。また、管理者、ユニット長からの報告にて、すぐに実情確認し、対応している。	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 毎月の法人内での勉強会では、現場での対応に苦慮していることについてのワンポイントレッスンもあり、即実践に役立てる事ができている。また、法人外の研修に参した職員は、研修内容を発表し、全職員が学べる体制にある。	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 愛媛県地域密着型サービス協会に加入しているだけでなく、石井地区のグループホーム連絡協議会にも加入し、研修会だけでなく、意見や情報交換したり、お互いの行事に参加できる機会がある。	
<b>II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 必ず事前に見学をしていただき、本人と話ができる機会を作っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 事前見学時に、本人と家族の意向や要望を聞き、暫定でのケアプランを作成、サービス開始前には、説明し同意をいただけるようにしている。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 事前情報を元に、スタッフ会議をし、必要に応じては、看護師、医師の意見やアドバイスを受けて、ケアプランを作成。本人、家族にケアプラン内容を説明、了解いただけるような対応をしている。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 入居者さんには、職員に依存してしまわないように、出来ることは、自分でしていただいている。同じ時間を共有する日々の暮らしの中で、助け合う協力者としての信頼関係を築いていけるように努めている。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 全入居さんの家族に対して、毎月必ず定期的に状態報告をしている。入居者さんと家族が、離れて暮らしても疎遠にならないように、お互いの思いを職員が伝えていけるよう支援している。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 電話をしたり、手紙を書いたりして、関係が維持できるように支援している。また、贈り物が届いた際には、職員が届いたことをお知らせするとともに、気軽に訪ねていただけるように声掛けしている。  (外部評価) 利用者本人や家族からこれまでの生活歴や習慣などの情報を把握し、馴染みの関係が途切れないように支援している。定期的に墓参りに出掛けたい等、利用者一人ひとりの希望に沿うよう努めている。法人内の他事業所との交流も盛んで、知人と再会したり新しい馴染みの関係を築ける機会を多く作っている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 入居者さんの個性を把握し、できる事、出来ない事をお互いに助け合えるようなお手伝いを声掛けしている。また、会話には、職員が加わることで、コミュニケーションがとれるように努めている。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス利用期間内にしっかりと信頼関係を築いておくことで、終了後も、地域フォーラムや行事の案内をする機会に、気軽に相談してもらえるような関係の維持に努めている。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 入居者さんが個々に安心して落ち着いた生活ができるように配慮している。長年生活している入居者さんの自己優先的な主張や新しい入居者さんの遠慮な思いに対して、家族さんの理解や協力を得ながら、お互いにストレスとならないような対応に努めている。	
			(外部評価) センター方式を取り入れ、利用者の生活歴や習慣、思いを再確認している。知り得た情報は記録に残して、職員全員で共有している。思いを伝えにくい利用者もいるが、表情や行動、普段の会話など日常の関わりの中から思いを汲み取っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) アセスメントシートにたよるだけでなく、本人、家族の何気ない日常会話の中からも把握できるように努めている。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員は交代勤務であるため、正確な記録、確実な申し送りにて情報を共有、入居者さんが安心して生活できるようにケアを一定化させ、不穏状態の改善に努めている。	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価) 毎月の家族への定期状態報告時に、必ず家族の意向、要望を確認している。健康状態の変化や問題が出てきた際には、詳細を家族に報告するとともに、スタッフ会議を行い、必要に応じては、医師、看護師に相談し、ケアプランを変更し、家族に説明し同意をいただいている。</p> <p>(外部評価) 利用者と家族の意向や要望を聞いて話し合い、それらが反映された利用者主体の介護計画を作成している。課題が確実にケアに連動していくよう記録方法も工夫し、モニタリングも月1回行い、現状に合った介護計画になるように努めている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価) 記録は大事な仕事である。記録から細かな情報を得る事ができるため、正確で確実な記載に努めている。更に、申し送りにて、情報を確認、共有することで、サービスを一定化させることに生かしている。</p>	
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) その人のその時々に合わせて、よりよいサービスが提供できるよう、スタッフ間や家族と話し合い、併設されているデイケア、小規模多機能が活用できるように取り組んでいる。</p>	
29		<p>○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価) 近所のパン屋さん、和菓子屋さんを利用することで顔なじみとなり、散歩中にも声かけてもらっている。また、近くの保育園児との交流や、毎年地域のお祭りのお神輿や子供獅子舞が入ることを楽しみにしている。</p>	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	(自己評価) かかりつけ医師には、毎日細部にわたり状態を報告し ている。緊急時には、職員が同行し、適切な医療が受 けられるような体制にある。	
			(外部評価) 週1回看護師の訪問があり健康管理が徹底されてい る。体調不良時などは母体の医療機関と連携を取り、 早急な対応ができています。職員が受診に付き添った場 合は、診察内容や利用者の状態などを詳細に家族に伝 えている。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	(自己評価) 毎日、定時報告し、状態の把握に努めてもらっている。 緊急時には、即対応してもらえるよう24時間体 制での支援あり。また、週1回の訪問看護支援もあ り、入居者さん、家族ともに安心していただいている。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	(自己評価) 入院時には、必ず同行し、入院先の病院関係者との情 報交換の場をもっている。入院後も、交代で訪ねて家 族から情報を得て、早期退院につなげるよう支援して いる。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合 いを行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	(自己評価) 入所時に、家族の意向を確認、書類を交わすだけでな く、家族とともに取り組むチームケアである事も理解 いただき協力を得て、取り組む体制が整っている。ま た、以前に経験したターミナルケアを生かし、職員間 でも意思確認するとともに、勉強会のテーマにして法 人全体でも取り組んでいる。	
			(外部評価) 終末期について事業所でできることを利用者と家族に 説明し、状態の変化に応じてその都度話し合ってい る。利用者と家族の意向を確認しながら納得し安心し た終末期を迎えられるように医師と連携し支援してい る。今までに1名の看取りを行っており、職員に対 して看取りについての勉強会や話し合いを行い知識を深 めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 定期的に医師、看護師から直接指導を受けられる体制にある。また、消防署立会いの避難訓練の際にも、指導を受けている。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 全てにおいて、対応マニュアルができています。地域に呼びかけ参加協力のうえ、消防署立会いのもと、定期的に避難訓練を行うだけでなく、自主的にも行っている。また、職員が慌てることのないように、緊急連絡網を大きく表示している。	
			(外部評価) 防災マニュアルを整備して避難訓練を行い、災害に対する意識が高い。地域の避難場所となることも想定し、非常用品や食料品の備蓄なども準備している。民生委員や地域住民の協力を得て緊急連絡網も整備し、地域との協力関係が構築できている。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 居室で過ごしている方の訪室は、必ずノックや声掛けをし、返事があってから、室内に入るようにしている。入居者さんと視線を合わせての声掛け、言葉遣いにも配慮、掃除や片づけなどもできるだけ一緒に行っている。	
			(外部評価) 利用者一人ひとりの人格を尊重した声かけや対応を心がけており、特にトイレ誘導時や入浴時にプライバシーを損ねていないか職員同士で振り返り確認している。自分の希望を伝えにくい利用者には、自己決定しやすい声かけをしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日々の何気ない事から、本人の言葉に出来ない思いに気づき、対応できるように入居者さんの表情も観察項目にあげている。また、遠慮しないで言い出せる雰囲気づくりにも配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の都合優先になりがちな事を常に意識し、職員同士で注意し合っている。その日その時に入居者さんの希望を優先した対応ができるよう職員が余裕をもつよう努めている。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 定期的に美容室に出かけている。外出時には、洋服を選ぶ事から楽しめるよう声掛けしている。また、食べこぼしなどで汚れたら、すぐに着替えるよう配慮している。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その人ができるお手伝いをしていただき、一緒に作る楽しみを支援している。季節、行事に合わせたメニューやお誕生日には本人の好物を取り入れるなど、毎日のメニューにも変化をつけて、食事が楽しみになるように配慮。また食事形態を個々のレベルに合わせて、お粥やキザミ食にしている。	
			(外部評価) 調理専門の職員が季節の食材を使い、栄養バランスにも配慮して作った食事は利用者からも好評である。おせち料理や誕生会など行事に合わせてメニューを工夫し、食事が楽しみになるようにしている。キッチンでの調理の様子や食事の匂いなども利用者に好まれている。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養のバランス、食べる量をもとに高齢者に合わせたメニューを作成している。水分摂取量は、個々の好みの物を取り入れてすすめるなど本人の負担とならないような工夫をしている。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、必ず口腔ケアを行い確認している。自分のできる方は、歯みがきの仕上げすることで、口腔内のチェックをしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握できているため、その人に合わせてのトイレ誘導を行っている。便失禁はほとんどなく、トイレでの排便が可能。尿失禁においては、職員同士で声掛け、パットの使用量を減らすよう努めている。	
			(外部評価) 利用者の普段の排泄パターンを把握しながら、その日の状態や体調に応じてできるだけトイレで排泄できるよう支援している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 個々の排便状態や一日の活動量を把握し、出来るだけ飲食物にて調整している。(水分量、乳製品、バナナ等)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴時間の制限はあるが、毎日の入浴が可能な体制にある。	
			(外部評価) 利用者の入浴の希望や習慣を把握し、入浴の苦手な利用者には声かけや対応を工夫するなどして、気持ち良く入浴できるように努めている。利用者の状態に合わせて職員2名で介助を行うなど、安全で安心して入浴できるように支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) その時々状態や体調に合わせての休息がとれるように支援している。また、安眠できるよう環境整備にも配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個々の定期薬には、日付、名前、服薬時を記入、必ず服薬確認を行っている。また、かかりつけ医師には、毎日入居者さんの体調を報告、細かな指示のもと、異変の早期発見、早期対応できるよう様子観察している。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 個々の役割分担ができています。日々の生活の中に、お誕生会や音楽療法、学習療法を取り入れたり、恒例行事として、納涼祭りや地方祭り、運動会など参加することが楽しみとなる機会を作っている。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 近所のパン屋さん、和菓子屋さん、ケーキ屋さんを利用することで、顔なじみとなってコミュニケーションがとれている。公園や近所を散歩することで子供達とのふれあいを楽しむ機会も作っている。また、家族の協力にて、自宅に帰る事やドライブや外食を楽しんでいる。	
			(外部評価) 近くの公園に行ったり周辺の散歩など日常的に外出できるよう支援している。事業所の近くにスーパーや飲食店が多く、利用者の希望に合わせて買い物等に出掛けたり、馴染みの美容室に行くなど、楽しみながら外出できるように努めている。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 物取られ妄想や、大事にしまい込みすぎてわからなくなるなどトラブルの原因になりかねないことを家族、本人に説明、了解を得た上で預かることにしている。外出時には、本人が自分で財布から支払えるように支援している。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話のかけ方が分からない方には、職員がかけて話ができるようにしたり、手紙を書く方にはアドバイスしたり、本人のしたいことができるように支援をしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) リビングの壁画は季節に合わせて張り替えている。居室の入り口には、自分の部屋とわかるように写真を飾っている。また風通りを良くするため、暖簾をつるしたり、ベットの位置を変えるなどの工夫もしている。</p> <p>(外部評価) 陽当たりの良い明るいリビングは、食卓テーブルやソファがあり思い思いの場所でゆっくり過ごすことができる。壁には行事の写真や近くの保育園児から訪問の際にプレゼントされたものが飾られて、心和む空間になるよう工夫がされている。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) お互いに定位置があるが、その時々に合わせて工夫している。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 以前から使用していた物を持ち込んでいただいている。本人の希望にて、鉢植えや観葉植物が置かれたり、ぬいぐるみや写真を飾っている。定期的なシーツ交換、布団干しにて、心地よく過ごせる支援をしている。</p> <p>(外部評価) 居室にはベッドとクローゼットが備え付けてあり、利用者の使い慣れた家具や思い出のものが自由に待ちこまれて落ち着いて過ごすことができる。窓から明るい日差しがあり、窓辺で観葉植物を育てられ安らげる空間になっている。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 入居者さんが理解できるように大きく表示したり、わかりやすい場所に置くなど工夫して、環境整備に努めている。</p>	